阿知須町広報

発行所　阿知須町役場
山口県吉敷郡阿知須町
発行　広報委員会
編集広報委員会事務局
印刷所　森重印刷所

まづ明るい町づくりから

町長　中尾岩雄

「宇部合併もまづ平和から」、「明るい郷土に楽しい生活」――中国一の大ゴルフ場も目下着々建設中で、温泉と共に一大観光地たらんと将来を約束された阿知須町が、観光地にふさわしい明るい町でなくてはなりません。

地財法のもとに町政の立直しと、枠内においての政治力による運営の合理化により、町民の福利増進と産業文化の発展を期したいと存じます。何卒、皆様方の絶大なる御指導と御鞭撻をお願いして、就任の挨拶と致します。

この一月から町長として再び皆様のお世話になることになりました顧るに数年間、阿知須町が新春を迎え大いに反省し、平和な町造りに皆様と共に進みたい念願でいっぱいです。

成人式　一七四若人に幸いあれ

本年満二十才に達し、大人の社会で一個人として認められ、そして夢と希望に充ちあふれる若人の首途を祝福する成人式は、一月十五日阿小講堂で開催された。この日出席のあつた一三四若人に対し、町長、議長、県教育長、学校長、中学生代表(河野早智子さん)からも帯つた社会の方々の深甚なる御愛顧とにより漸く本日あるを得て……いまや我国も内政、外交あらゆる方面にわたり発展し国力の充実もめざましく、広く世界諸国における信頼も大きくなりましたこの時、次代を担う私達の使命の重大さを痛感する」――旨の答辞がのべられた。また白井吉佐教育事務所長から「青年に直面しましたが、その中にあつて、絶えず慈愛溢る肉親の愛情と、次第に立に求める」と題する講演があつた後、記念撮影をし、会食を終り、午後は映画観賞が行なわれた。

式辞、祝辞がのべられた後成人出席者を代表して今井美生子さん(中村区)から「敗戦直後に小学校に入学し物質欠乏、社会の混乱のさ中で、幾多の苦難や不幸

(写真は数々の祝辞に応える成人者代表中村美生子さん)

赤ちゃんコンクールの実施について

来る三月八日乳児検診と同時に標記予選を実施しますので、ふるつて参加下さい。(厚生課)

参加資格は昭34年3月一日―同12月31日の出生者

漁協婦人部　藤重アヤ子さんに県知事賞が

本月下旬県代表として上京

漁村の生活文化の向上発展漁村の向上発展促進について熱心に発表があつた。

漁村青年大会は、一月八日下関市で県下各地区の青年団、研究グループ、それに今年から新しく漁協婦人部や婦人研究グループなどから代表者が招かれるなど約百人の出席のもとに開催された。

午後は、井川克巳氏(現県議)の「沿岸漁業振興策としての海外出漁について」と題する講演が行なわれた後、表彰式があり、晴の知事賞は本町漁協婦人部藤重アヤ子さんの「峠を越えて」他一研究グループの上に輝いた。

なお、藤重さんは二月二十六日東京で開かれる全国漁村青年大会に県代表として出席し、漁村婦人としての体験発表を行なうことになつています。漁村に働く人々の体験を綴つた「峠を越えて」は三月号から連載の予定です。

農林業センサス　に御協力を

2月1日から農林業の国勢調査ともいうべき1960年世界農林業センサスの本調査が開始されました。農林業を伸ばし農家のくらしをよくし、明るい農山村を築くための統計をつくる10年に1回の調査です。またこの調査は世界100余カ国の国々と共に行なう国際的な調査でもあります。

今回のセンサンはすべての世帯や事業所について調査されますので、本町の統計をつくるという意味からも極めて大切な調査です。ですから農業を行つたり林業を行なつているすべての世帯や会社その他の事業体の皆様の御協力を得て、本町でも立派な調査を行ないたいと思います。調査員のお訪ねする時間は、平均40分～50分長くても1時間半位ですから、調査員の方に御協力願います。

(統計主管課)

旧軍人の恩給等の受給手続は早く

(本年七月で時効となる)

相談、説明会を開催

恩給法等は法施行以来数次にわたり改正されてきましたが、本年七月末日で一応時効完成により請求権が消滅することになります。この改正点に注意されぬため各種恩給の受給該当者で未請求者がなお多数あるように思われます。

そこで県世話課では、次の日程により、巡回相談会並びに説明会を開催しますので、不審に思われる方は是非出席しましよう。

記

(日時場所)　二月二十二日午前十時から午後三時まで。　宇部市議会議場

24日午後7時30分、両候補の運命を決める秘箱はついに開かれ、着々整理される投票用紙(町議会議場にて)

殖える成人病

高血圧4分間に1人の割合　死亡率

成人病というのは、40才以上の働き盛りに多い慢性の病気――高血圧、ガン、心臓病のことをいいます。最近これらの病気による死亡が国民病といわれた結核にかわり高位を占めるようになりました。ちなみに統計をみると高血圧は4分に1人、ガンは6分に1人、心臓病では8分に1人の割合で死亡しています。

すべて病気は早く発見して早く治療することが何よりですが、特に成人病はこのことが大切です。何故ならそれは発見がむずかしかつたり、また早く見つけないと処置ができなくなる場合があるからです。壮年期の人達は家庭の柱であり、社会生活の上でも中心的な存在であるので、少しぐらい身体に故障があつても我慢して仕事に熱中するため、それだけ治療が手間どることになるわけです。

自分の血圧や心臓のうごきがどうであるか、また胃のぐあいなどについて、ある時期に検査してもらう必要がありましよう。異常がなければ安心して力一杯働くこともできますし、もし悪いところがあれば早目に加療することが長生きのコツだといえましよう。

成人病の相談は、どこのお医者さんでも応じてくれますが、国立病院や保健所の中には、この方面に大設力を入れているところがありますから利用しましよう。

防府市にガンセンターが

山口県下における成人病の死亡率をみますと、昨年度は脳卒中二千五百九十九人、ガン、千六百八十三人で、全国に比較して非常に高率です。

幸いに、このたび県ではこれに対応して今年度は防府市の県立中央病院にガン治療のためのガンセンターを設置することになりました。また、ガン対策としてのガン相談所、ガン対策協議会の設置など、いろいろな施策が計画されていることは喜ばしい限りであります。

どうか完成の暁には、定期的に施設で検診を受け、不安のない生活を送りましよう。

人事異動

一月二十七日付

◎退職
阿知須町事務吏員　片岡逸雄
願いにより阿知須町事務吏員を解く。

◎異動(カッコ内は旧職)
総務課長兼経済課長(厚生課長)　飯田宏史
税務課長(経済課長)　林幸年
厚生課長(税務係長)　浜野俊男
税務係(固定資産評価員兼税務課長)　砂村好恵
税務係長(税務係)　砂村好恵
庶務係(保険衛生係)　西村チサエ
税務係(庶務係)　古谷文子
税務係(税務係兼町営ラジウム温泉果精算者)　西村美代子
保険衛生係(阿知須小学校事務)　藤本一男
阿知須小学校事務(税務係)　米沢登美子

片岡前総務課長退職

前総務課長片岡逸雄氏(四十三才)は昭和十四年当時井関村であつた町役場に入られ、爾来二十一年余、その間兵役、山口市合併もあつたが、常に阿知須町民の一公僕としてひたすら町の発展に全力を尽されたが一月二十七日一身上の都合により、今までの半生を捧げられた職務から退かれた。

今月は　固定資産税―四期　保険税―三期

高等看護学院及び准看護婦養成所生徒募集

県下の高等学校と准看護婦養成所で生徒募集を行なつています。資格は、高等看護学院が高等学校卒業以上准看護婦養成所が中学卒業以上で、将来看護婦として働こうとされる若い女性の方の積極的な応募を希望しています。願書の受け付けや試験の日程は、各所施設により異なつていますので、最寄の保健所か公共職業安定所、学校などにお問合せ下さい。(山口県)

肢体不自由児に無料相談所が

このたび、休の不自由な児童のために、無料巡回相談所が次の通り開かれますので御遠慮なく相談にお越し下さい。

記

日時・場所―三月九日午前九時から午後五時まで。小郡公館(公民館ではない)担当専門医師服部教授

あんま・はり・きゆう師の試験実施について

昭和三十五年第一回あんま師、はり師、きゆう師の免許取得のための試験が次の通り実施されるので希望される方は受験して下さい。

(記)

◎試験日時
・学科試験―三月十日午前十時
・実地試験―三月十一日午前九時

◎試験場所
下関市東大坪山口県立盲学校

◎受験願書受付期限
三月二日、郵送の場合は二日付の消印のあるもの

◎願書提出先
山口市山口県衛生部医務課

なお、詳細は町厚生課におたづね下さい

福祉だより

◎先月号でもお知らせしましたが、昭和三十四年十一月一日以前に七十才に達せられた方で、年間所得が十三万円以上ある方又は扶養義務者が二万三千六百円以上所得税を収めておられる方は現在受給権はありません。

しかし、所得等はなかなか変動し易いものです。従つて何時受給権が発生するかも知れません。

受給権が発生したら、すぐ老令年金の受給をうけるためには、五年以内に町厚生課にて裁木権取得の手続きを完了しておくことが大切です。

◎新しい誕生日が来て七十才に達した方はその都度届け出ましよう。また受給権のある方で、まだ未届の方もあると思いますので、七十才以上の方は、一度は町厚生課へ尋ねてみましよう

ただし、公的年金(遺族年金、恩給等)を一万二千円以上受けておられる方は受給権はありません。

南米に希望を抱く若人

産業開発青年隊員募集中

山口県では、いま産業開発青年隊の隊員を募集しています。

これは、将来建設技能者または海外移民として、独立自営の道をひらこうとする若人の皆さんが、働きつつ学ぶところです。そして訓練が終った後は、本人の技能を生かし、希望に応じて就職とか海外移住の斡旋を行なうので、青年の皆さんがふるつて応募されるよう期待しています。

この産業開発青年訓練所は、徳山市間上（はざかみ）にあり、訓練の期間は五月一日から来年の二月末日までで人員は二十五名です。

応募資格は、十八才から二十三才までの心身ともに健全な未婚の男子で、学歴は問いませんが、高等学校卒業程度の学力が必要です。

募集の締切は四月十日まで、必要な書類を添え、町産業係かまたは県庁土木建築場または公共職業安定所で、申込みの方法は、町役場監督課まで直接送つて下さい。

入隊申込書があります。

長井良治氏

懐しの祖国をあとに

二月二日　神戸出港　一路ブラジルへ

早くから海外移住の先進地といわれているブラジルへ向け、長井良治さん（五一）は、妻の悦子さん（四三）二男の昭治さん（二〇三）男の光男君（一五―阿中三年）、長女の恵子ちゃん（一三―阿小六年）と共に二月二日神戸出港のため、一月二十二日午後六時四十二分大志を抱いて阿知須町に木由良駅頭は埋められ盛大な見送りであつた。

「今までお世話になつた方々の好意と誠意を胸に秘め、少しでもよい移住者になり、また後から来られる方のためにもその範となるよう努める。私は五十才をもう越しているが、向うに行つても青年には青年の私には年相応の立派な仕事があると思う。またしなければならぬ。どうか皆様も御健斗をお祈りします」と見送りの方々に最後の挨拶をされ片岡町長職務執行者の音頭で萬歳三唱がされた。

なお　三月二十日頃　去る三十年九月渡伯された長男の義朗さん（二三）の経営しているサンパウロ郊外に到着の予定で、現地にはすでに七ヘクタールが開拓されり馬鈴薯やとうもろこしを栽培されている。

（写真上）　木由良駅頭で最後のあいさつをされる長井さん一家　（写真下）　また会える日が果してあるだろうか送る人も送られる人も惜別の念に涙を浮べての最後の瞬間

当日は河内区の見送者や町内の数多くの役職につかれていた関係から、三百余

林業従事者は

労災保険へ

～事故防止に保護帽を～

◎冬山で伐採などの仕事に当つておられる皆様は労災保険へ加入していますか。これに入つていないと怪我や病気をしても労災保険の補償はなく事業主は労働基準法により自力で補償の責任を負うことになつています。

◎労災保険は他人を雇つて仕事をすれば、当然加入しなければなりません。あなたの山でもこの保険に入つているかどうか今一度確め、もしまだでしたらすぐ加入の手続きをとりましよう。

◎保険への加入手続きは最寄りの労働基準監督署や地区駐在の林業改良指導員へお尋ね下さい。

◎なお、山の仕事を「安全」なものにし、特に多い頭の怪我をなくそうと四月一日から全面的に「保護帽」をかぶらなければならないことになりました。そして三月いつぱいをその準備期間として「保護帽」の普及にのりだしますが、この帽子のことも監督署や改良指導員へ御相談下さい。

◆保健専門学院生を募集◆

県衛生部では四月開校する県立保健専門学院（山口市）の第一期学院生二十人を次のように募集しています。

▽資格＝看護婦学校養成所卒か看護婦免許所有者

▽修養期間＝八ヵ月。

▽手続き＝受験願書、履歴書、戸籍抄本、入学資格証明書、健康診断書、写真（上半身）受験料三百円を添え、県衛生部医務課宛。

▽試験＝三月二十二日県職員会館、学課＝看護学、常識、身体検査

▽合格発表＝二十八日

一月短会詠草

大野キヌエ

月形えて霜降りるらし出で来れば古柿の梢光りて見ゆる

河野　英子

素枯れた野にわらぶきの屋根在りてアンテナは冬の陽を返し居り

是枝　英雄

褐色の屋根に刷れて落つる雪ひとり石見を去る窓に見つ

兼重　きぬ

血液の循環によしとすすめられこの頃うまき晩酌の一盃

河野　幾代

動物園の木の葉散り果て木の下にろばは静かにも喰みている。

植林造林の適期です

瘠地にはまず肥料木から

伐採したら必ず跡地に木を植えましよう。それにはまず造林計画をたてることが大切です。

植林は勿論適地適木でなければなりませんが、大体土地の乾燥する所は松類で土質の良い所は赤松、やせ地または海岸の防風防砂用及び潮風の当る所では黒松植栽に適します。やせ地で表土が薄く湿り気の多い所は肥料木を栽培し地力の向上を図りながら、数年後に松類を植栽する（せき悪林改良造林）。

肥料木は非豆科根りゆう菌のヤマバンノキ、またはヤシャブシが一般的に植栽されていますが、生花にも使われているアカシヤも良い肥料木で、生長量は前者よりも旺盛です。十アール（一反歩）当りの植付本数は松類四百～五百、肥料木植栽は五千～七千本が適当です。

なお集団的に植栽する場合は補助金が交付されるが、これは前年の八月頃に申請をしなければなりません。

戸籍のページ

よろこびとかなしみ

（出生）

父　続柄　出生児　部落

福永　章捷　長男　裕章　岩西
杉村　清　次男　正志　小東
松崎剛治　長男　賜　小西
林　信明　次男　智　小南
福岡昌章　次男　茂夫　浜表
工藤　敦　長女　敏江　寺河内
大谷　茂　長男　正志　砂一
村藤正憲　長男　一正　北祝
米金正文　長女　良子　井関
石川　勇　長男　昌夫　青畑
中野忠雄　長男　竜夫　浜表
国重啓介　長女　慶子　源河
菊本文男　長女　亮子　寺河内
上野一成　次女　憲子　槻北
中尾恭洋　長男　恭樹　浜表
西田健一　長女真理子　恵比須
松原勇次　次男　恒雄　旦西
松本哲雄　長男　英智　岡
山野　進　長女　純子　旦北
松本純子　長女　純子　杖川
山信義之　長女　美佐恵　砂二
松浦長夫　長女　美佐恵　砂二
松浦　高　長男　敏治　砂二
辻野芳郎　三女　美恵子　浜表
河村照夫　次男　英二　槻北
田辺正一　長男　昌義　岩西
松本節雄　長男　敏明　旦北
徳永郁生　長男　明　恵比須
槻田　実　長男　幸夫　砂三
吉野　守　長女　寿子　砂一
岡村浩英　次男　毅　岩辻
河野和男　長男　徹　槻西
田辺保雄　次男　秀男　岩西

（婚姻）

夫　今泉提広
妻　工藤咲子
砂三　宇部市

死亡者　年令　部落

田辺静子　11月29日　55　恵比須
村田静子　11月29日　55　恵比須
国重アキ　12月14日　82　向井関
伊藤松代　12月14日　67　旦東
浜崎金兵衛　12月14日　56　槻南
磯崎佐一　1月6日　70　西条
福永源一　1月7日　61　浜
藤井友一　1月19日　75　旦西
新谷由紀子　小南
松井ナミ　1月21日　80　浜
井上スミ　1月26日　75　旦北
（11月26日から1月25日まで）

夫　小林由仁
妻　田中恵美子
夫　岡
妻　宇部市
夫　梶田孝江
妻　浜表
夫　山下静司
妻　川野美須子
夫　須田中喜一郎
妻　須原容子
夫　岡
妻　宇部市
夫　藤原幸雄
妻　荒川キミ子
夫　山本祐次
妻　小西
夫　飛石
妻　宇部市
夫　浜表
妻　宇部市
夫　田辺繁子
妻　宇部市
夫　蔵本実雄
妻　福増武子
夫　岡田茂男
妻　高下初真代
夫　梶田好男
妻　江本静子
夫　今本定美
妻　古浜八千代
夫　大野裕
妻　弘中富美子
夫　山口市
妻　山口市
夫　宇部市
妻　引野
夫　山口市
妻　村田静子
夫　古谷静也
妻　潮崎満子
夫　上野信義
妻　辻野芳郎
夫　松浦高
妻　河村照夫
夫　松永禎吉
妻　浜村春子
夫　槻重勇
妻　新谷由紀子
夫　上野耕造
妻　田村昌子
夫　山口市
妻　赤迫
宮本早苗　栽市

夫　南祝
妻　佐々木紀久子
夫　小野田市
妻　山口市
夫　高井喜蔵
妻　松崎律子
夫　浜表
妻　旦東
夫　伊藤辰雄
妻　宇部市
夫　古谷光子
妻　西条
夫　河野昌博
妻　宇部市
夫　佐野玲子
妻　岡
夫　松田武夫
妻　上野文子
夫　旦西
妻　山口市
夫　深野千行
妻　津田広子
夫　山口市
妻　小森梅雄
夫　篭地
妻　德田ミツエ　秋芳町
夫　坂野省三
妻　弘中スエコ
夫　宇部市
妻　赤迫
夫　宇部市
妻　井関
夫　内田真人
妻　井上好恵
夫　宇部市
妻　祝
夫　小野田市
妻　源河
夫　槻田
妻　江本静子
夫　山口利明
妻　藤川美知子
夫　宇部市
妻　砂三
夫　前田多門
妻　辻野政子
夫　宇部市
妻　岡
夫　小郡町
妻　岩西前
夫　山口市
妻　村田静子

一年のうち二度病気になる

厚生省の国民健康調査によると、日本人は一年間、平均二回は病気にかゝり、二十五日間病気の状態にあつている。いちばん病気の者にかゝる率は百人のうち四十八・三人で医療費の総額は一年間で三千五百億円以下の貧しい家庭ほど病人にのびり、保険がない場合では、三千一アール以下の小の一人当りの支出は四千円農ほど病人を出している。

であるが、保険が普及しているので患者が直接支払うが、医療費の四〇％となつている。いちばん病気の被害をうけている階層は、四十八・三人で医療費の総額は一年間で三千五百億円を多く出している。農山村では、三千一アール以下の小農ほど病人を出している。

事業計画書の掲載は省略します

二月号に掲載を約束しておりました財政再建計画下六カ年間における事業計画書は去る一月十三日付町議会発行の（声明書）において骨子を発表しましたので二月号広報での発表は省略させていただきます。

ネズ公の尾とクジ券交換

県下いっせい鼠族駆除運動

ただ今県下一せいにネズミ駆除運動が展開されていますが、恐しい病毒をまき散らすネズミをこの機会に一匹でも多く捕え、この運動の主旨を達成しましよう。

なお、回覧等で御存知の通りこの運動を促進するため捕えられたネズミ一匹に電化製品の当るクジ券がネズミの尾と引換えに交付されることになつています。

実施期間等は次の通りです

※実施期間二月一つぱい

※駆除ネズミの種別

クマネズミ、ドブネズミ（ツカネズミ、アカネズミ、ヒメネズミ、ハタネズミ、その他

※くじ券の交付期間二月一ぱい町役場厚生課にてネズミの尾と引換えに交付します。二月以前に捕つたものでもくじ券を差上げます。

※毒餌の無料配布

この毒餌は黄りん製剤で人畜に対する毒性が大変強いので、お子さん方が誤つて口に入れない様厳重に注意のこと。誤食したら、速やかに医師に連絡し、誤食した薬剤（別名ネコイラズ）の名前を告げる事。なおアルコール、牛乳、油類は絶対に与えないこと（厚生課）

うつかりしがちな

贈与税

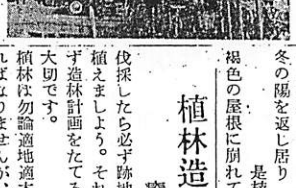
もらつた財産を相続すると相続税がかかる。だちか生きているうちに財産を分配した方が得だ。税金分だけもうけになる。と早合点する人が知つているが、贈与税は御存知ない人が多いから無理もない。

では贈与税とはどういう税金か。一言でつくせば、相続税の補完税であつて、会社などの法人以外の個人から無償で財産をもらつたとき、原則として課せられる税金です。そして一年間にもらつた財産の合計額が二十万円（贈与税の基礎控除額）をこえると、翌年の二月末日までに申告をして納税することになつています。

しかしもらつたものが何でもよいというわけではありません。例えば、父兄からもらう教育費、扶養義務者からもらう生活費で、その金額が社会通念に照らして非常識でないもの、公益事業用財産の贈与の場合は課税されません。

一方、市価と比較にならないほど低い価格で財産を譲り受けたときは、譲渡価額と市価との差額だけ贈与があつたと見なされて贈与税が課されます。また、もらつた財産が一年間に二十万円を越えないでも連続贈与ということになれば課税されます。

ところで、父の金で土地家屋を買い、子供の名義で登記したときや夫の金で妻名義の株式を買つたときなど親族間に贈与があつた場合、申告納税を忘れ易いから注意が肝心です。申告に際して不動産の評価方法など、わからぬ点は税務署で遠慮なく相談しましよう。詳しく教えてくれますので



消防ポンプ全機動化後の出初式（中学校前河原にて）